

授業に関するアンケート（2018 年度秋学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
現代こども学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
概ね、シラバスに沿った授業が行われていたものと思われる。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
概ね、理解度を考慮した授業が行われていたものと思われる。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
ほぼ達成されていたと思われるが、「ややそう思う」が約 4 割で、もう少し学生のレベルを考慮する課題もあると考える。
4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていたか。
教員との双方向的な授業の工夫が図られ、学生間のグループワーク、プレゼンテーションや振り返りなど、アクティブな授業運営がなされているものと思われる。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
「そう思う」「ややそう思う」が 8 割という回答結果から、一定のフィードバック（採点や、添削等）はなされていると考えるが、クラス規模によって差が出ているところもあり、改善の余地もあると考える。
6. 言葉による説明だけでなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていたか。
資料の提示や配布、活用、映像等による説明やロールプレイングを取り入れるなど、様々な工夫がなされていると思われる。
7. 自主学習を促す工夫がなされていたか。
プロジェクト型の授業も多く、様々な自主学習の課題が出されるなど一定の工夫はなされているが、「あまりそう思わない」が 12.8%と 1 割を超えており、まだ改善の余地があると考え。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
「パワーポイント等」への要望が 14.8%最も高い。これは提示等活用の仕方への要望か、使用していないことへの要望かはわからないところであるが、機器操作の工夫と熟達の課題はあると考える。次に、「話し方」が 7.1%で続くが、教員ごとの特性的なところもあると考える。概ね努力はなされていると思われる。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
授業の形態や授業目的が知的達成度を重視したものか、プレゼンテーションやスキルの達成を重視したものかによって、取り組み方に差が出ているように思われる。また、前年度との比較では、やや時間が少なくなっている。全体的には、工夫の余地があるものと考え。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
全学との比較からすれば、平均を上回っているが「あまりそう思わない」以下の回答が約 4 割近くある。双方向的な授業の展開によって、より多くの意見を引き出す工夫が必要と考える。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
更に学習を深めたいと思っている受講生が多い授業が多い。学習の発展につながるような適切な指導も課題になるものと考え。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。

本学科は教員免許及び保育士資格取得のための必修が多いことから、「必修」がほぼ 5 割の数値となっているが、「授業内容」という項目においても 3 割の数値を示している。学生の学びへの意欲に応えるものになっているととらえたい。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。

概ね、いずれの科目においても到達目標への達成が意識された授業・工夫がなされていたものと思われる。

14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。

概ね、達成できているものと思われる。ただ「わからない」が 1 割弱の数値となっており、到達目標そのものの把握とその差異に気づくことができるような、目標提示や指導の余地があるのかも知れないと考える。

15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください
(複数選択可、なしも可)。

授業形態によって差が出てくるが、全体として、分析力、思考力、創造力、プレゼンテーション力、コミュニケーション力の高さが目立つ。学科の特性を反映しており、受講生もその力の獲得が実感できたものとする。

(4) その他

前年度と比べて、ほぼ全ての項目において同様の数値となっている。

「回答率」が 80.20 (前年度から 1.0 のマイナス) となっているが、もう少し改善を図りたいと考える。

学科打合会を通して本結果の概要を伝え、教員間で課題の共有を図りたい。

また、嘱託講師の方々とは年 1 回の懇談会を設けており、そこで本結果の概要を伝えるとともに情報交換を図りながら、授業の質の向上に取り組みたい。